

[特集]

地域資源の新たな活用

これまで地域が条例等で個別に実施していた景観整備・保全の仕組みを総合的に規定し、美しい国づくりをめざした景観法が昨年全面施行され、景観を地域づくりに活かす機運が高まっている。景観に限らず、地域が育んできた生活や文化を捉え直し、そこに物語性を加えることで特長を持った地域を創造することができる。たとえば、東京ではなく“日本橋”と定義することで、銀座でも青山でもない日本橋特有の物語を展開することが可能であろう。

本号ではこのような視点から、「魅力ある地域の創造に向けて」「景観まちづくりの動向と今後の課題」「シーニックバイウェイ北海道の展開について」という3本の論文を取り上げた。

C O N T E N T S

- 魅力ある地域の創造に向けて
溝尾 良隆 …… 4
- 景観まちづくりの動向と今後の課題
森野 美徳 …… 8
- シーニックバイウェイ北海道の展開について
和泉 晶裕 …… 12